



新本っ子

学校通信 No. 4
令和5年4月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性を持ち、実践力のある子どもを育成する】 令和5年4月18日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

お世話になった先生 離任式



14日(金)、お世話になった先生の離任式が行われました。お別れの挨拶では、本校での思い出や子どもたちの頑張り、よさを振り返り、協力し前向きに取り組むことへのエールを送っていただきました。

お話に真剣に聞き入る子どもたちも、先生と過ごした日々を思い出しながら、感謝の気持ちや今後の生活への意気込みを強くしたことと思います。

離任される先生には、本校児童の健やかな成長のために、誠心誠意ご尽力いただきました。ありがとうございました。

あいさつの大切さ【4月朝礼講話】

4月の品格目標は、あいさつです。今日はあいさつの大切さについて考えていきます。「挨拶(あいさつ)」という漢字の挨には心を開く、挨は迫る、すりよるという意味があるそうです。つまり、「挨拶」には、自分から心を開き、相手に近づいていくという意味が込められています。

ノートルダム清心女子大学の元学長だった、渡辺 和子(わたなべかずこ)さんは、あいさつについて著書(「置かれた場所で咲きなさい」)の中で、「『あなたはご大切な人なのですよ』と伝える最良の手段。そして、人と人がお互いのお陰で生きていることを自覚し合う、かけがえのない瞬間。」と記されています。

これらのことから、あいさつは、人と人とのよい関係を築いていくための大切で素晴らしい行いと言えますね。

4月の品格ポスターには、「あいさつを通して明るい学校や地域社会をつくりまします。」と書かれ、「自分から進んであいさつをしていますか?」と問いかけられています。

皆さんには、自分から進んであいさつをする中で、子どものときから自然にあいさつができる力を身につけてほしいと願っています。

